

多重債務問題解決の 全県民的ネットワークを

平成15年自己破産調査報告

沖縄県司法書士会

もくじ

● 発刊にあたり	1
● 15年調査報告	6
● 参考資料	
1) 本土消費者金融業者店舗数	15
● 調査結果表	17
● 新聞報道から	26

発刊にあたり

平成 15 年 11 月

沖縄県司法書士会

沖縄県司法書士会が、毎年のように県下の自己破産申立者の実態調査を行い、その実情を広く各界にお知らせするパンフレットを作成し続けて今年で 9 年になります。同パンフレットを、司法・行政機関、教育機関、金融機関等に配付するとともに、各種団体等での会員の講演会でも参加者の皆さんに配付して実情をお知らせし警鐘を鳴らしてきました。あわせて、次のような事業を実施し、県下の多重債務者の激増に対応する法律実務家職能団体としての取り組みを進めてきました。

- 1、毎週 3 回の「県民相談センター」による無料相談をはじめ、毎月 1 回の「暮らしの行政法律相談」、特設の 1 日合同行政相談、市町村や社会福祉協議会への相談員派遣、常設の離島を中心とした電話による無料相談、「久米島司法書士法律相談センター」の開設（毎月 2 回）により、広く県民の皆様の相談に応えるとともに、法的手続きをとおして問題解決を図る方策をお知らせしてきました。
- 2、高校や専門学校卒業予定者を対象とした消費者教育を重視し、学校当局のご協力を得て講演会等を実施してきました。平成 14 年度は、28 校 619 名の生徒に対し 36 回の講演会を行い、24 名の会員を講師として派遣してきました。また、行政機関や各種団体の講演会等でも会員が講師となって実情を訴えてきました。
- 3、平成 6 年から、継続的に「多重債務問題の講演と相談会」を実施してきました。数年前からは、県下 5 会場（離島含む）での相談会を実施しています。
- 4、裁判所や弁護士会の協力も得て、破産手続きや調停手続きについての会員研修会を繰り返し実施し、会員が多重債務問題に関わる法律実務手続きに習熟するための事業も実施してきました。
- 5、司法書士法の改定により、法務大臣の認定を受けた司法書士に簡易裁判所での代理権が認められるようになりました。特定調停手続き、消費者金融業

者との貸金被告事件、不当利得金返還請求事件等で多重債務者の解決をはかる途が大きく広がります。当会では会員研修会を実施し、県民の付託に応える態勢を整える決意です。

6、沖縄県警察本部に対し、社会問題となっているヤミ金融業者への対応をより一層強化していただくよう要請しました。

激増続く沖縄の多重債務者

ところが、県下の多重債務者の激増傾向はますますひどくなっているのが現状です。長引く不況で県民生活や中小零細企業の経営が苦境に陥っていることに加え、サラ金業者等の宣伝広告や営業が格段に広がっていることが背景にあると思われます。最新の統計資料でも、多重債務者の増加傾向が次のとおり報告されています。

- ① 平成14年の自己破産者（会社関係を除く）は2,066件でしたが、本年は上半期で1163件（昨年度は889件）であり、昨年度を更に上回る勢いで激増を続けています。
- ② 平成14年の特定調停事件は、31602件で実数でも全国トップクラスで、人口比では他都道府県を引き離して全国一位です。
- ③ 同年の支払督促事件は1万件を超えてます。
- ④ 当会の県民法律相談センターの相談でも、多重債務問題が相談件数のトップです。市町村や社会福祉協議会等の各種相談窓口の相談でも「クレジット・サラ金問題」が激増を続けていると報告されています。
こうした指標からも、県民のなかに借金苦が広がり続けていることが明らかです。当会も、ますます会員研修等を強化し、司法的救済を求める県民の皆さんへの期待に応えるため奮闘する所存です。あわせて、相談会、講演会等の諸取り組みにも一層の力を入れる決意です。

本年の破産申立調査と関連問題

本年も、1月1日から6月30日までの新規破産申立者についての調査を行いました。この間の県下の新規破産申立件数は1163件（法人を除く）で過

去最高の件数になっています。当会の調査はうち326件で、全体の約28%の申立者の調査になっています。

沖縄本島中南部の会員からの調査が主ですので、必ずしも全県下の傾向を反映できていない面もあるうかと思います。しかし、債務者と面談し破産宣告申立書を起案した当会会員からの調査結果は、かなりの正確性を持つものと確信します。

調査結果の数値とコメントは、「調査報告」(6ページ~)に譲りますが、いくつかの関連する問題について指摘しておきます。

(1) 自己破産件数は昨年同様2000件台に！

本年も、自己破産申立件数が激増を続けています。1月から6月までの申立件数は過去最高であり、今年も年間申立件数が2000件を超える勢いです。

前年期破産件数 (1月から6月)

	H15年	H14年	H13年	H12年	H11年
那覇地裁	619件	406件	312件	439件	418件
沖縄支部	359件	328件	273件	273件	250件
名護支部	119件	116件	72件	63件	63件
平良支部	32件	11件	9件	4件	2件
石垣支部	34件	28件	24件	14件	14件
合計	1163件	889件	690件	793件	747件

(2) 特定調停事件も、さらに激増を続けています。

このままでは経済的破綻に陥るおそれのある債務者の経済的再生をはかる目的で平成12年2月から施行された特定調停の件数も激増を続けています。同手続きの各簡易裁判所ごとの件数も紹介します。

特定調停事件数

	平成14年	平成13年	平成12年
	特定調停	合計	合計
那覇簡裁	18940件	12213件	6463件
沖縄簡裁	10022件	5417件	3192件
名護簡裁	1843件	873件	651件
平良簡裁	479件	180件	118件
石垣簡裁	318件	34件	0件
合計	31602件	18717件	10424件

ただし、平成12年については2月から12月までの件数である。

(3) ヤミ金融業者の横行は重大な問題となっています。

破産調査には現れていないのですが、平成12年暮頃から、県内でもヤミ金融業者による違法営業が激増し深刻な問題となっています。殆ど東京の業者ですが、本年半ば頃から県内業者も出てきました。出資法違反営業に対する告発も会員有志により行われています。

(4) 不当利得金返還請求訴訟が急増しています。

各マスコミでも大きく報じられましたが、不当利得返還請求訴訟が当会会員により多数提起されるようになっています。取り戻した過払金を未払業者への返済に充て、借金問題を解決できる方々もできました。

県司法書士会の事業として

当会は本年度の重点事業の一つに「市民への法的サービス」を掲げ、会員の破産、調停、個人再生、不当利得金返還請求訴訟、貸金被告事件等の実務の拡大と充実に努めます。

同時に、那覇市おもろまちに完成した新会館を拠点として、次とおり多重債務者問題の解決をめざした諸事業を実施致します。

1、司法書士県民法律相談センターを拡充し、市町村や社会福祉協議会への相談員派遣を引き続き推進します。会への相談員派遣要請も増えています。

昨年度から新会館を活用しての県民法律相談センターの相談事業を週2回から3回に拡充しました。久米島での司法書士法律相談センターも毎月2回実施しています。引き続き、各市町村等の要請に応え、各種相談窓口への相談員（会員）の派遣事業を推進します。

2、全県下（5会場）で多重債務解決をめざす「講演と相談会」を実施します。

日 時 平成15年12月20日（土）午後2時から5時

場 所 那覇市＝司法書士会館

沖縄市＝沖縄市農民研修センター

名護市＝名護市21世紀の森体育館

平良市＝平良港ターミナルビル

石垣市＝平得公民館

3、高校卒業予定者を対象とした講演会の実施を県下全ての高校に呼びかけます。特に若年者のなかで債務問題が深刻化し、集団詐欺被害事件も起こっているだけに、全ての高校からの講師派遣要請を期待します。

調査報告

平成 15 年 沖縄の自己破産

= 平成 15 年前半期における

新規自己破産申立者の調査報告のコメント =

平成 15 年 10 月

沖縄県司法書士会

調査方法等

- ① 本年 1 月 1 日から 6 月 30 日までに県会会員が取り扱った自己破産申立件数（合計 326 件）を対象にした調査結果です。
- ② 同件数は、6 月末現在の県下の地方裁判所（支部含）新規受付破産申立者約件の約 28 % にあたります。
- ③ 本島中南部及び八重山の調査が主で、本島北部の調査は不充分になっています。
- ④ 会員に、本年の破産申立者について、事情聴取や申立書記載事項から債務者一人一人についてのアンケート方式で回答を求めました。

報告方法

- ① 調査結果のコメントをおこない、その裏付けとなる調査数値等は、末尾にまとめて数値または図表として掲載しました。
- ② コメントでは、平成 6 年からの調査結果も紹介し、各調査項目の推移を比較検討できるようにしました。

調査結果の特徴

1、年齢別（第 1 表、第 3 表）

- ① 当会が調査を開始してから引き続き、破産申立者は全ての世代に渡っています、30～50 代の社会の中堅層が全体の 68 % になっています。
※ 30 代と 40 代で全体の 54 % になっています。

- ② 20代の破産者が20%になっています。
- ③ なお、平成6年調査からの年代別推移は下記のとおりです。

	20代	30代	40代	50代
平成6年	15%	16%	28%	22%
平成7年	14%	28%	25%	15%
平成8年	17%	25%	27%	21%
平成9年	19%	31%	21%	17%
平成10年	20%	28%	26%	14%
平成11年	20%	27%	25%	16%
平成12年	12%	30%	24%	20%
平成13年	15%	31%	24%	16%
平成14年	20%	24%	28%	15%
平成15年	20%	29%	25%	14%

2、男女別（第2表、第3表、第3表の2）

- ① 女性が圧倒的です。ここ数年間、男性の増加傾向が指摘できましたが、再び女性の増加が顕著になっています。
- ※ 業者の営業が女性をターゲットにしている事が指摘でき、主な借金目的が生活費を補うことの反映ともいえます。
- ※ 20代の男女では、女性のほうが7ポイントも多くなっています。
- ② なお、平成6年調査からの男女別推移は下記のとおりです。

	男性	女性		男性	女性
平成6年	30%	70%	平成10年	37%	63%
平成7年	34%	66%	平成11年	36%	64%
平成8年	24%	76%	平成12年	36%	64%
平成9年	30%	70%	平成13年	36%	64%
			平成14年	31%	69%
			平成15年	36%	64%

3、地域別（第4表）

① 破産者が全県各地に広がっていることが分かります。

※ 業者の営業店舗の展開、テレホンキャッシング等の影響が大きい

参考 各年の自己破産件数の推移＝那覇地裁発表・司法統計から					
	14年	前年比	13年	12年	11年
那覇地裁本庁	1009件	137%	732件	904件	936件
沖縄支部	722件	130%	554件	578件	565件
名護支部	223件	135%	165件	151件	114件
平良支部	30件	157%	19件	11件	10件
石垣支部	82件	170%	48件	45件	31件
合 計	2066件	136%	1518件	1,689件	1,653件

4、破産申立前後の職業（第6表）

① 破産前（申立前6か月）の職業では、ほとんど全ての職種に及んでいることが分かります。勤労者が引続き多数ですが減少しています。公務員も1名います。

② 自営業者は、破産手続きよりも、特定調停が積極的に活用されているせいか減少しています。下記の表を参照ください。

同11年	同12年	同13年	同14年	同15年
40名 (11%)	51名 (15%)	34名 (12%)	25名 (8%)	24名 (7%)

③ 無職・主婦層、パート・アルバイト、契約社員・その他などの収入が不安定と思われる層での破産が顕著です。

「無職・主婦」、「パート・アルバイト」、「契約社員・その他」を合わせると全体の74%にもなります。長引く不況の中で生活苦が拡大していること、業者の営業が利用者の返済能力を軽視した過剰融資傾向が強いことを示して

います。

④ 破産申立時点での職業では、会社員等や自営業者が減少し、無職者が圧倒的に増えています。高利の返済と厳しい取立てに追われ、職場を失ったり、営業を閉めざるを得ない状態に陥って破産手続きを求めていることが分かります。

5、破産時の職業・収入・公的扶助・家族状況等（第5～8表）

① 破産時点では無職者が約4.4%を占め、経済的に成り立たない状態に陥っていることが分かります。

② 主な特徴は次のとおりです。

イ 破産時の平均収入は、月15万円以下が87%を占め、低所得層での破産が多いことを示しています。 （第5表）

※H10年=85%、11年=87%、12年=89%、13年=87%、14年=89%

ロ 生活保護世帯13名（3.9%） （第6表附属）

※H10年=6%、11年=9%、12年=4%、13年=8%、14年=6%

ハ 単身家庭と母子家庭が多いことが分かります（3.2%）。 （第7表）

※H10年=33%、11年=28%、12年=36%、13年=37%、14年=37%

※母子（父子）家庭は、H14年=22%、H15年=19%

ニ 住居は、賃貸住宅居住者が全体の71%です。 （第8表）

※H10年=82%、11年=78%、12年=80%、13年=79%、14年=75%

ホ 本人や家族が病気をかかえている債務者が40%もあり、本人や家族の病気が借金のきっかけや増加につながっています。 （第6表附属）

	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年
本人	87（30%）	85（23%）	86（25%）	77（28%）	62（21%）	75（23%）
家族	49（17%）	71（20%）	65（19%）	38（14%）	53（18%）	58（17%）
	136 47%	156 43%	151 44%	115 41%	115 38%	133 40%

へ 債務者個人だけでなく、家庭生活が破綻していることを示す指標としての「家族の破産・調停」も 21%に及んでいます。 (第9表)

※ H10 = 27%、11年 = 33%、12年 = 33%、13年 = 23%、14年 = 27%

6、どこから、いくらを借りているか。(第10表~13表)

① 平均借入件数は約10社です。 (第10表)

「10社まで」の借入で破産するケースが約72%です。

※ H10年 = 53%、11年 = 66%、12年 = 68%、13年 = 70%、14年 = 65%

② 借入先のトップはサラ金(消費者金融業者)です。 (第11表)

破産者の95%が利用しています。サラ金の平均利用件数は6社で、平均借入額は295万円です。平均金利が29%と仮定しても、利息だけ月約7万円の支払いになります。20代だけの調査では、サラ金利用者は92%にもなっています。 (第22表)

③ クレジット利用者が48%になっています。クレジットカードのショッピング枠利用というより、キャッシング枠利用(借金)がほとんどです。

④ 日掛業者利用者が約14%になっています。自営業者が少ないのに14%となっているのは保証人等の問題の深刻さを示します。

※ H13年 = 9%、H14年 = 20%

⑤ 破産者の平均負債額は774万円です。400万円以下の負債で破産に至る方が52%です。 (第13表)

⑥ 破産時の平均債権者数と平均債務総額の推移は下記のとおりです。

破産時の平均債権者数と平均債務総額

平成 7年調査	平均 12社から	718万円の債務
平成 8年調査	平均 14社から	730万円の債務
平成 9年調査	平均 12社から	787万円の債務
平成 10年調査	平均 12社から	702万円の債務
平成 11年調査	平均 10社から	741万円の債務
平成 12年調査	平均 10社から	1020万円の債務
平成 13年調査	平均 9社から	929万円の債務
平成 14年調査	平均 10社から	764万円の債務
平成 15年調査	平均 10社から	774万円の債務

7、借金の目的（第14表）

- ① 借金の目的は、生活費を補うためが主であり、複数回答で引続き 98% で大きな割合を占めています。
- ② 借入目的を借金返済のためとした回答が 92% ありました。
- ③ 事業資金も 15% に及んでいます。破産前の自営業者は約 7% ですから、家族や親戚縁者が事業資金等の借入れを手伝っていることを示します。
- ④ 保証人や名義貸しも、19% で重要な問題です。
- ⑤ 遊興費は 3% です。その場合は特定調停を活用しているケースが多いと思われます。
- ⑥ 住宅ローン関連の破産は約 10% でした。各年度の実数は下記のとおりです。また、サラ金業者の不動産担保貸付けが増えていて、競売や任意売却を余儀なくされるケースも目につきます。

※H11年=26名、12年=34名、13年=38名、14年=15名、15年=29名

- ⑦ 借金の目的調査についての推移は下記のとおり（複数回答）

	生活費	保証人等	事業費	遊興費	住宅ローン
平成 6年	47%	18%	32%	10%	—
平成 7年	71%	25%	28%	9%	—
平成 8年	81%	49%	22%	15%	—
平成 9年	86%	38%	28%	3%	7%
平成 10年	82%	22%	26%	3%	6%
平成 11年	93%	26%	15%	4%	7%
平成 12年	92%	21%	24%	2%	10%
平成 13年	91%	24%	19%	3%	14%
平成 14年	91%	25%	19%	1%	5%
平成 15年	98%	19%	15%	3%	10%

8、借金の期間（第16表）

① 借金の期間は、「5年以上」が71%でした。最初の借入れから破産申立までの期間が、長くなっていることを示しています。約32%が10年以上の期間、借金に追われ続けてきたことが分かります。

※H10年=67%、11年=70%、12年=70%、13年=70%、14年=74%

② 借りてから3年以内の破産者は10%でした。

※H10年=19%、11年=10%、12年=3%、13年=15%、14年=10%

③ 平均借入件数、平均借入額、無職・主婦・パート層の増加などを考えあわせて考えると、生活困窮者（返済資力不足者）に安易に貸し付ける傾向が強まっていると考えられます。資金需要者の返済能力を超える業者の過剰融資が大きな問題として指摘されます。

9、取立状況と生活の変化（第17、18表）

金融業者の厳しい取立てにより、職場を追わされて失業したり、離婚等で家庭生活が崩壊しています。

① 自宅への取立てが87%もあり家庭生活を脅かしています。職場への取立ても15%で離職の原因ともなっています。家族への取立てが20%であり、違法取立てが後を絶ちません。家族への取立ては禁止されています。

- ② 取立てが原因となり、離婚したり別居した家族が 34 件（約 10%）にもなっており、家庭生活が根底から破壊されている事がわかります。
- ③ ガイドラインを無視した取立てにより、追い詰められて精神を害する者も少なくないことを指摘しておきます。精神に疾患をもつ者への貸付けが目立つとともに、自宅や職場への執拗な電話督促で、さらに精神的に追い詰められている債務者が少なくありません。
- ④ 破産手続中の裁判は、破産手続きの迅速化もあって減少のまま推移している（3%）が、公正証書などによる強制執行を受けている者もいます。

※ 裁判を提起された者（支払督促を含む）

H10 年 = 39% 、 11 年 = 21% 、 12 年 = 7% 、 13 年 = 7% 、 14 年 = 7%

10 、 20 歳代の破産申立者の特徴

今回の調査で、新規破産申立者の約 20% が 20 代の若年者になっています。

最近、若年者をねらってサラ金業者の無人契約機械でカードを作らせ、カードと借入金を騙し取る集団詐欺被害事件も県下で報告されています。業者のテレビ等の広告が若年者を対象にしていることも問題です。若年者への消費者教育を徹底することが緊急の課題であることを示しています。

今般の調査での、 20 代の申立者の特徴は下記のとおりです。（ 20~25 表）

- ① 女性の割合がより高くなっています。（全体の 64% 、 20 代 71% ）
※ 若い女性のなかでの消費者教育が重視されます。
- ② 借入件数は殆ど 5 件から 10 件です。年代にしては多くなっています。
- ③ サラ金利用が 92% 、クレジット利用が 47% と高くなっています。
※ 特にクレジットのショッピング利用からの借金の増加がみられます。
- ④ 収入とも関連し、過半数が 300 万円までの借入れです。
※ それでも、金利年 28% なら利息だけで月 7 万円にもなります。
- ⑤ 借入期間 5 年以上が 44% もいます。
※ 10 代からサラ金業者等を利用している者が少くないことを窺わせています。
- ⑥ 借金の目的も、生活費や借金返済、保証人・名義貸しが主です。

※ 特に、若年者のなかでの保証人、名義貸しに関する教育の重要性が
指摘できます。

参考資料

本土消費者金融業者の店舗数

県内（離島含む）の主な本土消費者金融業者の店舗数（無人契約店含む）（平成15年9月作成）

会社名	9年1月	10年1月	11年5月	12年5月	13年5月	14年5月	15年9月
武富士	10店舗	11	19	21	22	22	23
アコム	14店舗	18	22	23	23	23	22
プロミス	14店舗	20	22	23	24	23	23
アイフル	9店舗	10	13	14	17	17	17
三洋信販	10店舗	14	14	22	23	24	24
GE(レイク)	8店舗	10	14	16	17	17	17
合計	65店舗	83	104	119	126	126	126

その他：平成15年9月現在の上記以外の本土消費者金融業者の店舗数

CEFJ（旧：ディック・アイク・ユニマットライフ）19店舗・三和ファイナンス6店舗
 日本プラム3店舗・アエル5店舗・ナイス1店舗・シンキ3店舗・AGファイナンス2店舗
 クレディア1店舗・ぶらっと2店舗

調査方法 新聞・電話帳・インターネット等

参考資料

主な本土消費者金融業者の店舗形態

(平成15年9月現在)

会社名	窓口契約店舗	無人契約機のみの店舗	合計
武富士	9	14	23店舗
アコム	10	12	22店舗
プロミス	13	10	23店舗
アイフル	13	4	17店舗
三洋信販	9	15	24店舗
G E (レイク)	5	12	17店舗
G F J	17	2	19店舗
三和ファイナンス	2	4	6店舗
日本プラム	3		3店舗
アエル	3	2	5店舗
ナイス	1		1店舗
シンキ	1	2	3店舗
AGファイナンス	2		2店舗
クレディア	1		1店舗
ぶらっと	2		2店舗
合計	91店舗	77店舗	168店舗

☆調査結果表

表1 年代別割合

20代	66
30代	93
40代	81
50代	46
60代	32
70代	6
80代	1
90代	1
総数	326

表1 年代別割合

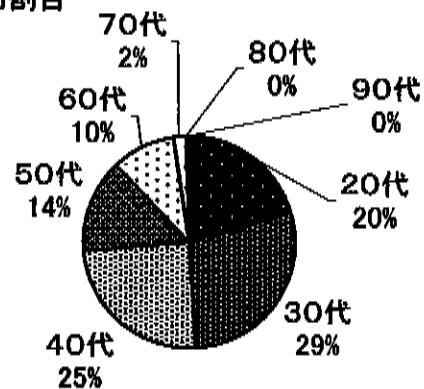


表2 性別割合

男性	117
女性	208
不明	1
総数	326

表2 性別割合

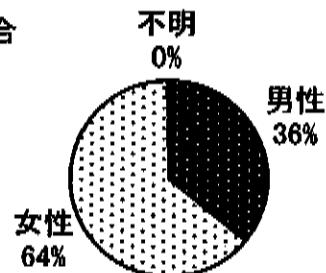


表3 年代別(男性)

20代	19
30代	37
40代	34
50代	15
60代	8
70代	3
80代	0
90代	1
総数	117

表3 年代別(男性)

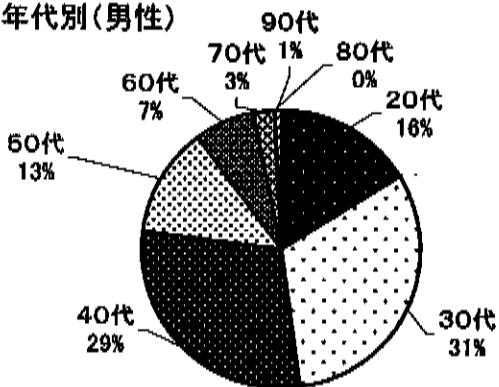


表3-2 年代別(女性)

20代	47
30代	55
40代	47
50代	31
60代	24
70代	3
80代	1
総数	208

表3-2 年代別(女性)

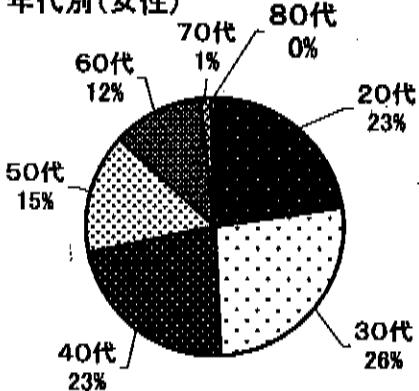


表4 地域別

那覇市	114	35.0%
浦添市	37	11.3%
宜野湾市	25	7.7%
沖縄市	45	13.8%
糸満市	9	2.8%
南風原町	9	2.8%
豊見城市	5	1.5%
西原町	4	1.2%
具志川市	17	5.2%
読谷村	7	2.1%
石川市	6	1.8%
与那原町	10	3.1%
中城村	6	1.8%
北中城村	4	1.2%
金武町	1	0.3%
北谷町	4	1.2%
与那城町	1	0.3%
大里村	2	0.6%
知念村	5	1.5%
玉城村	3	0.9%
名護市	2	0.6%
東風平町	2	0.6%
勝連町	1	0.3%
粟国村	1	0.3%
具志頭村	3	0.9%
嘉手納町	1	0.3%
不明	2	0.6%
総数	326	

表5 破産時の収入

0円	99
1~5万円	28
~10万円	85
~15万円	72
~20万円	27
21万円~	12
不明	3
総数	326

月平均収入

本人	7.6
本人・家族含む	14.0

表5 破産時の収入

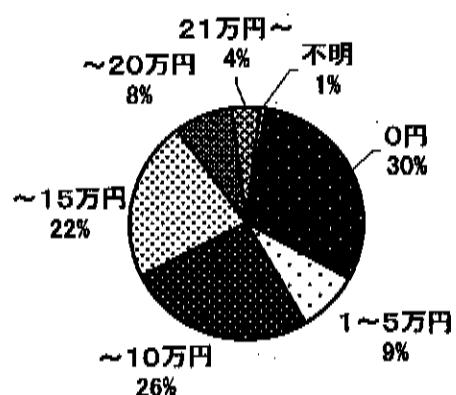


表6 破産前後の職業

	破産前	破産時
会社員(事務・営業・他)	36	11.0%
公務員	1	0.3%
自営業	24	7.4%
パート・バイト	32	9.8%
水商売勤務	11	3.4%
無職・主婦	83	25.5%
契約社員・その他	126	38.7%
不明	13	4.0%
総数	326	

公的扶助

生活保護	13
児童扶養手当	52

病人世帯

本人病気	75
家族病気	58

表7 家族状況

単身者	43
一般	208
母子(父子)家庭	61
不明	14
総数	326

表7 家族状況

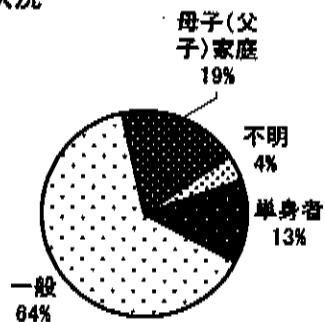


表8 住居

持家	80
賃貸	233
不明	13
総数	326

表9 家族の破産・調停

有	70
無	248
不明	8
総数	326

表9 家族の破産・調停

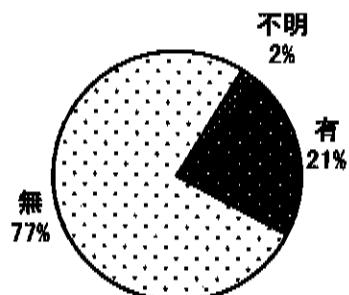


表10 借入件数

1~5件	56	17.2%
6~10件	178	54.6%
11~15件	59	18.1%
16~20件	13	4.0%
21~25件	5	1.5%
26件~	15	4.6%
不明	0	0.0%
総数	326	

平均借入件数
 $3209(\text{総借入件数}) / 326(\text{総人數}) = 9.84\text{件}$

表10 借入件数

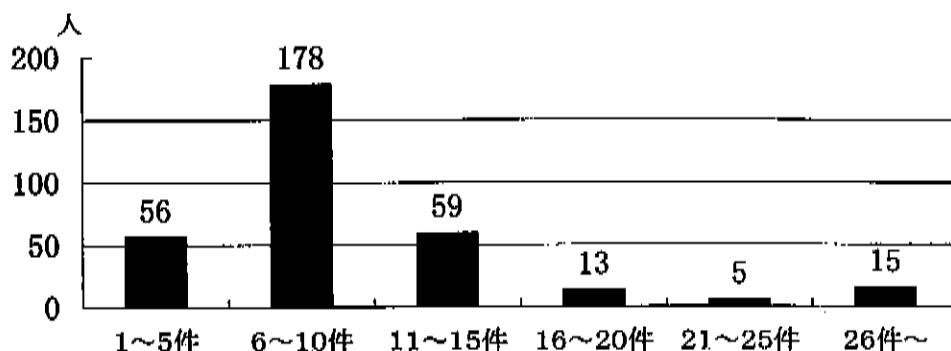
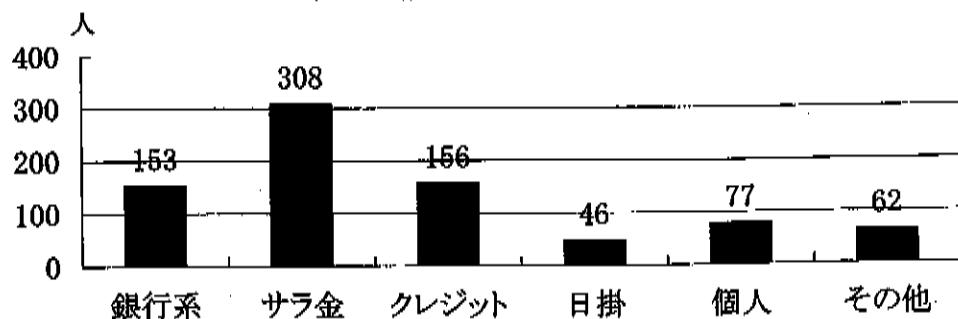


表11 借入先1(複数回答)

銀行系	153	46.9%
サラ金	308	94.5%
クレジット	156	47.9%
日掛	46	14.1%
個人	77	23.6%
その他	62	19.0%
人数	326	

表11 借入先1(複数回答)



借入先2 [平均件数]

銀行系	336	2.20 件
サラ金	1,770	5.75 件
クレジット	330	2.12 件
日掛	350	7.61 件
個人	195	2.53 件
その他	228	3.68 件

当該業者総数

業者別利用者人数

[平均借入額]

銀行系	612万
サラ金	295万
クレジット	94万
日掛	196万
個人	233万
その他	329万

業者別借入総額

借入人数(借入先1)

表12 各借入総金額 [万円]

銀行系	93,629
サラ金	91,146
クレジット	14,657
日掛	9,027
個人	17,988
その他	20,421
不明	5,650
総計	252,518

平均負債額(万円)

774.6

表13 負債総額

100万以下	3
~200万	22
~300万	71
~400万	73
~500万	39
~800万	57
~1000万	11
~2000万	22
2000万超過	28
不明	0
総計	326

表13 負債総額

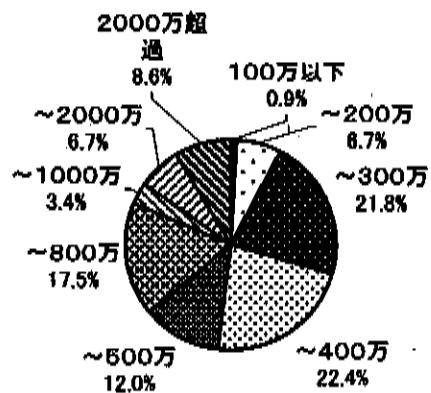


表14 借金の理由(複数回答)

生活費	297	98.3%
事業資金	45	14.9%
遊興費	9	3.0%
消費財の購入	42	13.9%
保証人・名義貸	58	19.2%
借金返済	278	92.1%
住宅ローン	29	9.6%
その他	1	0.3%

表14 借金の理由(複数回答)

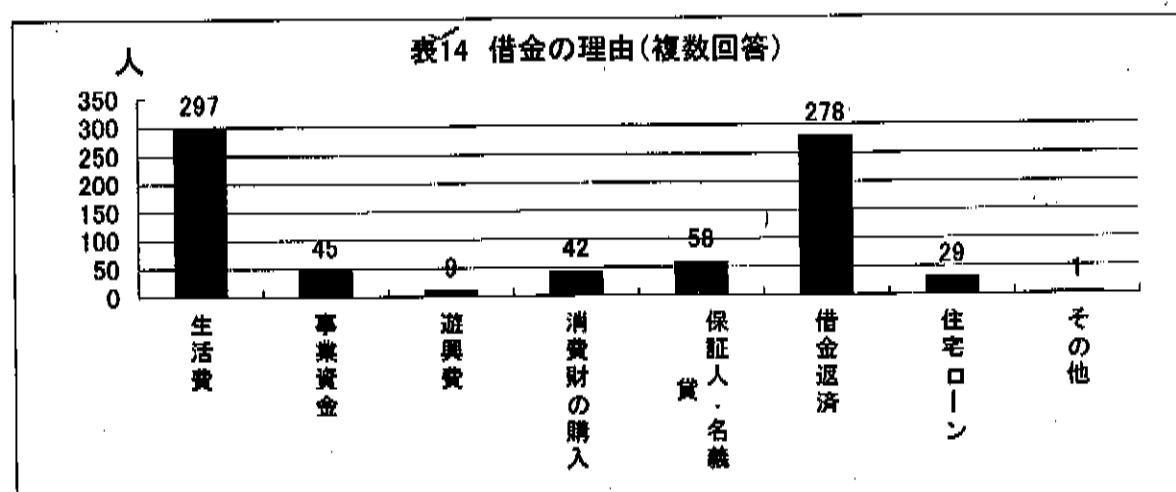


表15 離職の理由

退職	35
倒産	14
解雇	2

表15 離職の理由

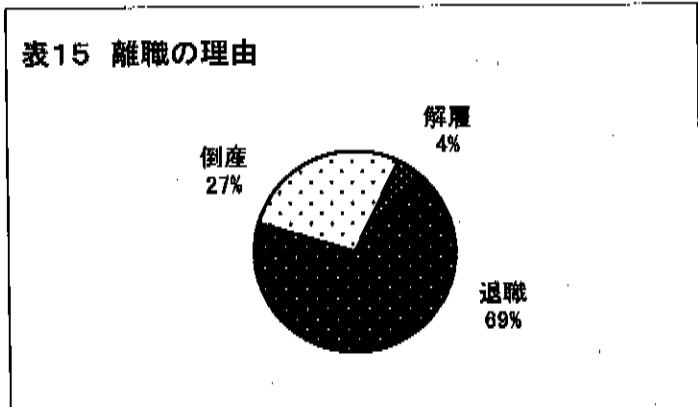


表16 借入期間

3年以下	34
~5年	56
~7年	55
~10年	70
~15年	67
15年超過	37
不明	7
総数	326

表16 借入期間

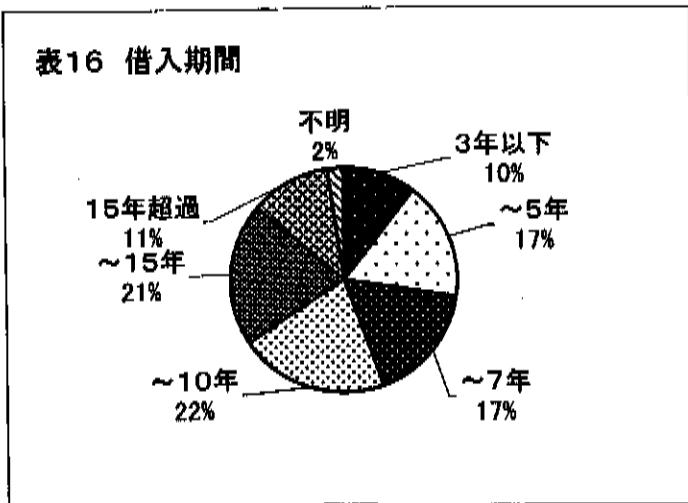


表17 取立状況(複数回答)

自宅	284	87.1%
職場	50	15.3%
家族	66	20.2%
違法取立	6	1.8%
裁判	10	3.0%
強制執行	2	0.6%

表17 取立状況(複数回答)

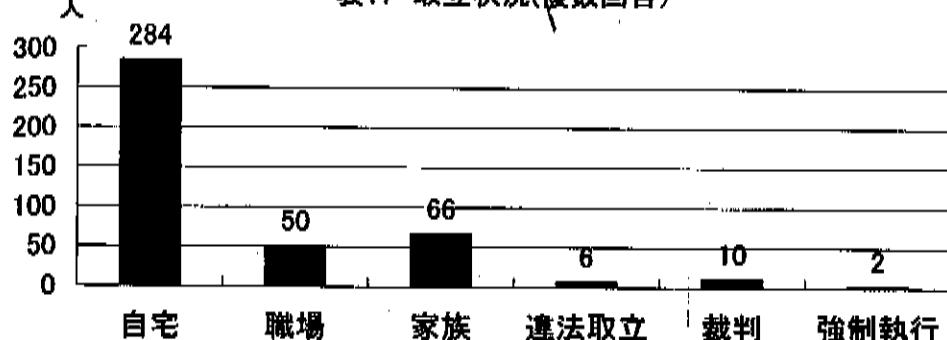


表18 生活への変化(複数回答)

離婚	26
別居	8
退職	8
出稼ぎ	2

表18 生活への変化(複数回答)

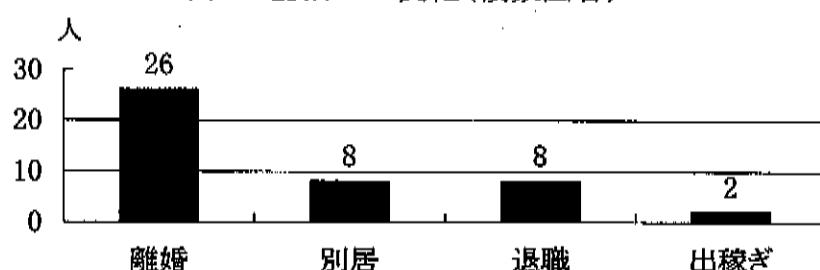
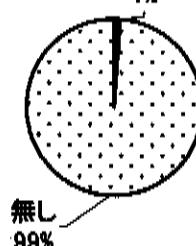


表19 一部弁済

有り	4
無し	322

表19 一部弁済

有り
1%



☆20歳代の破産者の特徴

表20 男女比

男性	19	28.79%
女性	47	71.21%
総数	66	

表20 男女比

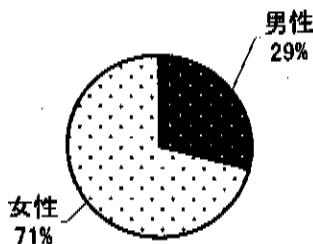


表21 借入件数

1~5件	17	25.8%
6~10件	43	65.2%
11~15件	5	7.6%
16件~	1	1.5%
総数	66	

表21 借入件数

総借入件数	492
平均借入件数	7.5

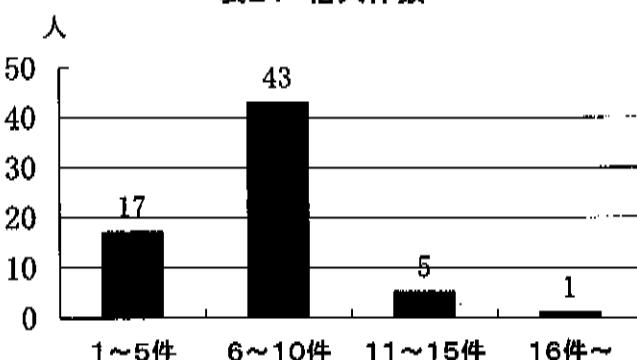


表22 借入先(複数回答)

銀行系	15	22.7%
日掛	7	10.6%
サラ金	61	92.4%
個人	9	13.6%
クレジット	31	47.0%
その他	12	18.2%
人数	66	

表22 借入先(複数回答)

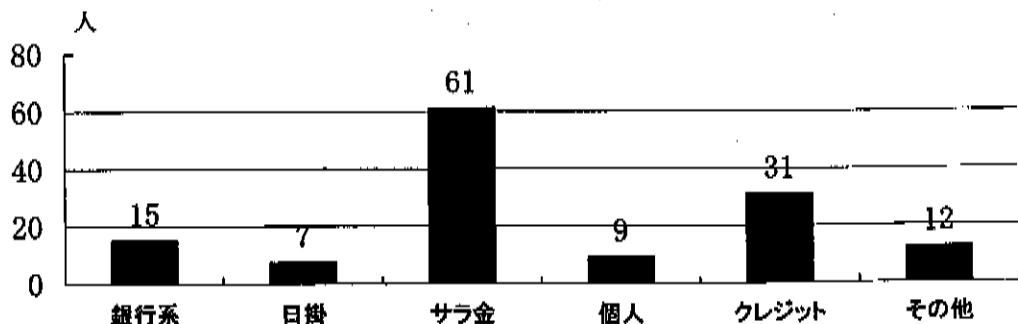


表23 負債総額

100万以下	0	0.0%
~200万	7	10.6%
~300万	27	40.9%
~400万	17	25.8%
~500万	8	12.1%
~800万	4	6.1%
~1000万	1	1.5%
~2000万	1	1.5%
2000万超過	1	1.5%
総数	66	

表24 借金の期間

3年以下	11	16.7%
~5年	24	36.4%
~7年	16	24.2%
~10年	13	19.7%
10年超過	0	0.0%
不明	2	3.0%
総数	66	

表23 負債総額

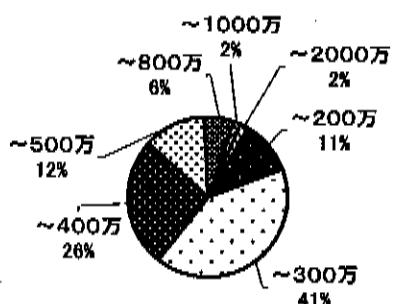


表24 借金の期間

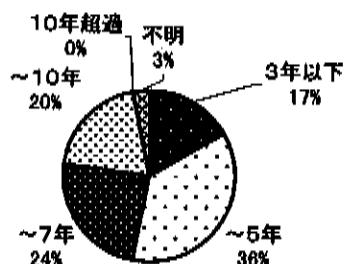
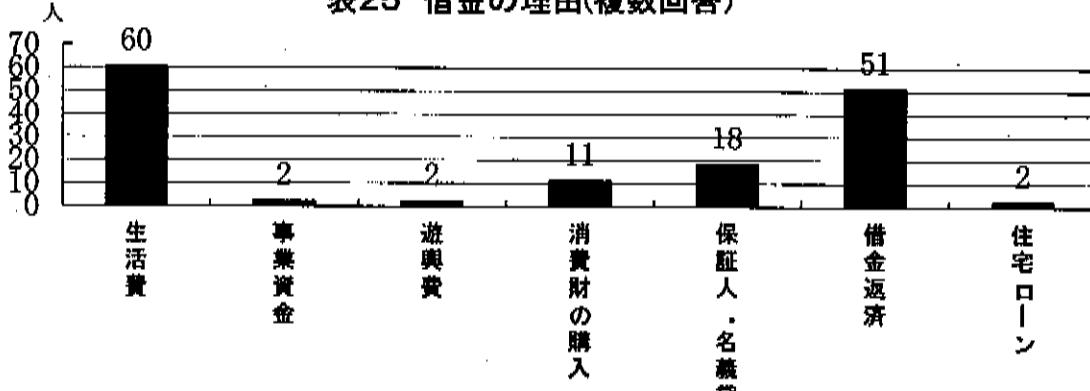


表25 借金の理由(複数回答)

生活費	60	90.9%
事業資金	2	3.0%
遊興費	2	3.0%
消費財の購入	11	16.7%
保証人・名義貸	18	27.3%
借金返済	51	77.3%
住宅ローン	2	3.0%
その他	0	0.0%
人数	66	

表25 借金の理由(複数回答)



平成14年9月25日（水）タイムス（ダーヴァ）

事務局	7)	申し立て等。	談内容	4時。	毎火	司法書士無料法律相談
	3	電話	登記手続	水	木曜午後2時	司法書士会館相談
	5	司法書士会	電話	6	(8)	裁判
	6					

平成14年9月25日（水）琉球新報（いきいき遊ランド）

◆司法書士無料法律相談（県司法書士会館）毎週（火・水・木）14時—16時、内容=登記手続き・裁判申し立て等。要予約。☎098(867)3526 司法書士会事務局

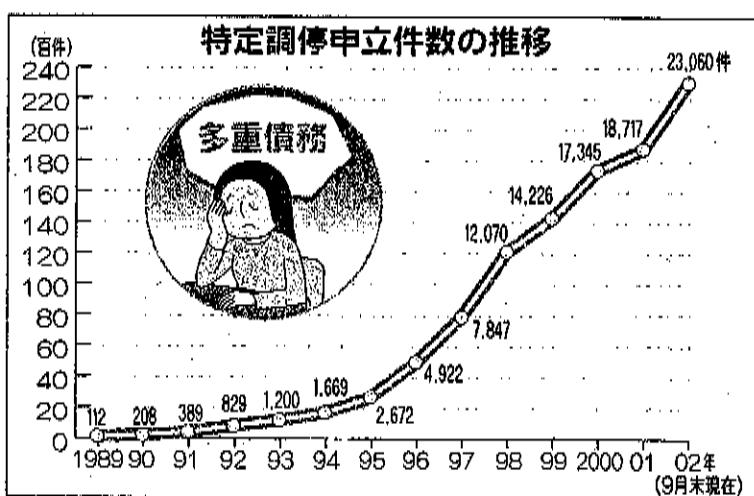
平成14年9月25日（水）

◆講演会「サラ金等被害と解決法について」（南風原町立中央公民館ホール）26日（木）14時—16時、講師=宮里徳男氏（司法書士）☎098(889)7380 南風原町役場経済振興課（前城）

特定調停最多 2万3060件

多額債務者の債務整理を資金業者との話し合いとで解決する「特定調停」の裁判所への申立件数が、今年九月末現在で昨年一年間をすでに上回り、過去最多の二万三千六百六十件に上っている。これが二十回目、最高法院審議会の調べで分かった。「自己破産」の申立件数も四百七十四件を数え、今年一年間では初の二千件台に達するとみられている。同余では「申し立ては法的手続きをに行ってくる人であり、水口の一角。増加の背景には、不況による生活苦の拡大に加え、業者側の返済能力を無視した貸し付けがある」と分析している。

自己破産2000件超す勢い



7割女性「無理な貸し付け要因

県司法書士会調べ

まだ、今年上半期（一
～六月）に取り扱った新規の自己破産申し立て事
案（三百一件）を対象に、
同会が実施した業態調査
によると、自己破産を申
し立てた人の七割を女性
が占めた。

家庭生活を維持するた
めに、女性がしわ寄せ
を受けているところられて
いる。

職業別では、無職・主
婦層にパート・アルバイト層を加えると44.1%
になり、返済能力を無視
した貸し付けが問題とな
っている。

自己破産申立者の平均

借入先(複数回答)は、
消費金融が94・7%で
トップ、次いでクレジット(55
・0%)、銀行系(49・
0%)個人(23・2%)、
日掛け業者(19・5%)
の順だった。
回答は「県内の多重債務
問題はますます深刻化してくる」と指摘。多
重債務者に対する救済
活動として、十一月十六
日(那覇、沖縄、名護)
平良の各市で、同二十二
日に石垣市で、それぞれ
講演・相談会を実施す
る。

多重債務申し立て急増

負担額は七百八万円で、利用した金融機関は十社。借り入れ目的（複数回答）は、借金返済(92.4%)、生活費補てん(90.7%)、保証人(24.5%)など。

年間2000件突破の勢い

県内

県司法書士会(藤原貴男会長)が二十四日に発表した今年前半(一六月)の自己破産調査報告によると、県内の破産申立件数にあたり、県内の破産申立件数は八百九十八件と同期比では過去最高となり、九月末現在で昨年一年間の千五百十八件に迫る千四百七十四件に達するなど年間で二千件を突破する可能性が高くなっている。収入の安定しないパートや主婦などで破産申

自己破産申し立て

司法書士会調査

立件数の約44%を占めるなど、県内における「借金問題」の深刻さが浮き彫りになっている。

今年前半の自己破産申立件数は八百九十八件で、前年同期と比べ三百五件増加し、同調査開始一九九四年以来、過去最高も、九月末で昨年一年間の千五百十八件に迫る千四百七十四件に達するなど年間で二千件を突破する可能性が高くなっている。収入の安定しないパートや主婦などで破産申

立件数の約44%を占めるなど、者金融業者などの宣伝広告や営業が漫遊していることが背景にある」と分析している。

今年前半の自己破産申立件数は八百九十八件で、前年同期と比べ三百五件増加し、同調査開始一九九四年以来、過去最高も、九月末で昨年一年間の千五百十八件に迫る千四百七十四件に達するなど年間で二千件を突破する可能性が高くなっている。収入の安定しないパートや主婦などで破産申

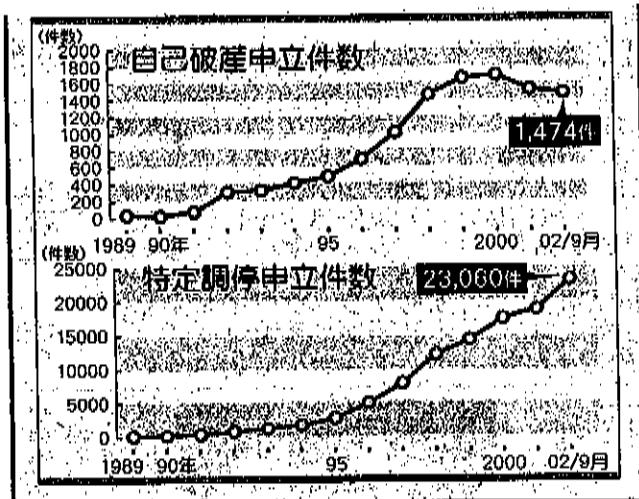
立件数の約44%を占めるなど、者金融業者などの宣伝広告や営業が漫遊していることが背景にある」と分析している。

今年前半の自己破産申立件数は八百九十八件で、前年同期と比べ三百五件増加し、同調査開始一九九四年以来、過去最高も、九月末で昨年一年間の千五百十八件に迫る千四百七十四件に達するなど年間で二千件を突破する可能性が高くなっている。収入の安定しないパートや主婦などで破産申

立件数の約44%を占めるなど、者金融業者などの宣伝広告や営業が漫遊していることが背景にある」と分析している。

今年前半の自己破産申立件数は八百九十八件で、前年同期と比べ三百五件増加し、同調査開始一九九四年以来、過去最高も、九月末で昨年一年間の千五百十八件に迫る千四百七十四件に達するなど年間で二千件を突破する可能性が高くなっている。収入の安定しないパートや主婦などで破産申

女性7割□20代増加傾向



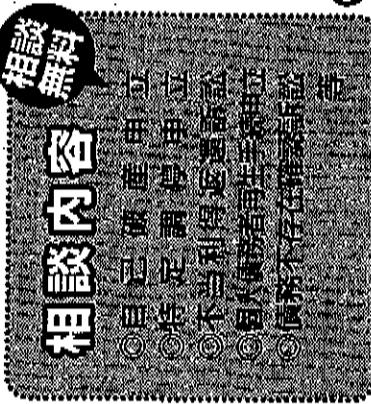
平成14年10月25日(金)琉球新報(朝刊)

多重債務者問題講演会・相談会

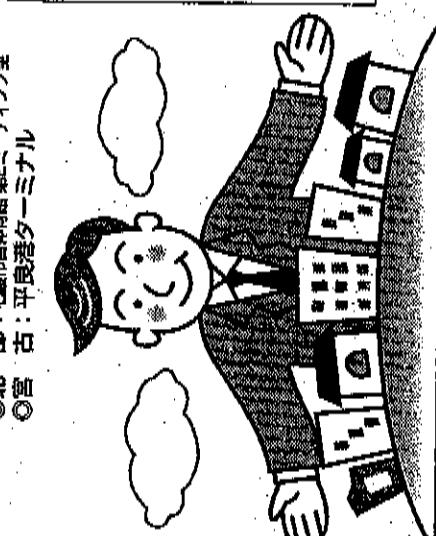
演題「借金問題の解決法」

平成14年11月23日 朝日時／平成14年11月23日 朝

■場所／◎八重山：平得公民館



※当日は、借入状況一覧表
をご持参ください。



沖繩縣司法書士會主催

宮古毎日 (11/14、11/15、11/16掲載)

借金問題の解決法 無料 講演及び相談会

◇日時／平成14年11月16日(土)
午後2時～午後5時

◇場所／平良港ターミナルビル 2F (小研修室)

【一人で悩まずご相談を】

相談内容

- 自己破産申立
- 特定調停申立
- 個人債務者再生手続申立

これまで多くの方が
相談会で問題を解決し、
人生の再出発を
はじめています。

主催／沖縄県司法書士会 連絡先 TEL2-1809

◎ 借金問題の解決法
講演・相談会 (11月16日
午後2時～5時 平良港
マリンターミナル) 内容
は自己破産申立、特定調
停申立、個人債務者再生
手続申立。相談無料。問
い合わせは沖縄県司法書
士会 (2-1809)。

宮古新報 (11/14、11/15、11/16掲載)

借金問題解決法 講演及び相談会(無料)

【一人で悩まずご相談を】

【相談内容】

- 自己破産申立
- 特定調停申立
- 個人債務者再生手続申立

これまで多くの方が相談会
で問題を解決し、人生の再出
発をはじめています。

主催 沖縄県司法書士会

連絡先 TEL 2-1809

日時

平成14年11月16日(土)

午後2時～午後5時

場所

平良港ターミナルビル
2F (小研修室)

★ 借金問題解決法講演
及び相談会 (あす) 沖
縄県司法行政書士会主催。
午後2時から平良港マリ
ンターミナルビル二階小
研修室。受講無料。問
い合わせは同司法書士会
(2-1809) まで。



論壇

不況からの出口が一
向に見えない経済状況
の中、多重債務者の増
加が大きな社会問題と
なっています。全国の個人の個人破
産申立件数は平成十三
年約十六万件(平成元
年の十七倍)でした
が、今年だけを上回
るべ一七八申立件数が
伸びています。

経済基盤が脆弱な
本島においては高い
失業率や横社会(マイ
マーク)のマイナス面
等により、問題はよ
り深刻化している。
沖縄県法曹士会の
年余の上回り、年三万
件など、かなりの県民が
危機的状況に陥っています。

不況から出たのは、個人破産申立件数ばかりでなく、平成十三年の特
定調停申立件数は一万八千件で、人
八件でしたが、今年は八千七百六十件で、人
二千件を突破するもの
じふられます。

調査では、県内の個人破産申立件数は、なお、平成十三年の特
定調停申立件数は一万八千件で、人
八千件でしたが、今年は八千七百六十件で、人
二千件を突破するもの
じふられます。

桃原 用仲

県内の多重債務について

自己破産2千件突破を予想

また、破産と並んで、
かならずも支払が不
能となるもある程度の
場合に行う特定調停申
立を行へ被審が広が
る傾向があります。ヤミ金融
等を行った数です。法
の被審相談は全国的に
ヤミ金融被害に遭わ
つけるためには、早い
限られた時間の中で適
切な法的解決方法を見
つけています。ヤミ金融
の事務局、沖縄県法曹士会
の司法書士会館ほか四
会場で、二十三日午後
二時から沖縄市の中
央公民館で開催しま
す。問い合わせは同会
議事室を窓口形となりが
ちです。取り次ぐう
ち、相談者に対する
理

法定の数回借の利息
を受け取って検討され
る各種相談窓口が増
え続ける一方の相談者
の状況を踏まえ、多
重債務問題の対応に苦慮してい
ます。法定の制限額を超過せ
る過酷な取り立が横行
する状況です。私の事務
所でも相談者は後を絶
ちません。訪れる人の
大方は心身ともに疲弊
している。本来なら
時間がかかることが重複
の話を聞かなければ
なりません。講演会・相談会を十六
日午後二時から那覇市
の司法書士会館ほか四
会場で、二十三日午後
二時から沖縄市の中
央公民館で開催しま
す。問い合わせは同会
議事室を窓口形となりが
ちです。取り次ぐう
ち、相談者に対する
理

喪失の時代に

多重債務社会を追う

■ ■ 1

全国で「百五十万人以上」といわれる多重債務者。自分の道い詰めながら借り続ける姿が、今は「本当の自分を見せられない」希薄な人間関係が透けて見える。不況の中、高利貸業者の繁栄は続く。借りる側、貸す側、逃がす側…。それらの視点で多重債務社会を追った。(敬称略)

「ワンランク上」をまとう

「少し素材のいい物、少しぜいたくな物。そういうを身に着けている人が安心するんです。自分が「ワンランク上」の存在になつたみたいで」。カシミヤのコートに金の指輪。かわかないキャリアウーマンと呼ばれる英子(三井信也)は消費者金融に面三十万円の借金を抱える。

武装しないと出られない

使うからだ。

だけでもと思って…

いてない。家にも食費代わ

てくれるのでは」。巨額によ

エルメスの直営店舗ビル「メゾン・エルメス」前に並ぶ入店待ちの行列。大不況でも「ブランド」を求めて長い列ができる=01年6月、東京・銀座

時代の時代

多重債務社会を追う

■ ■ ■ 2

上納金は月四十万円、実力行使は避け、取り立ては電話だけ。一回延滞の客は「不良債権」。福岡市で「現金持つヤミ金融グループの業者マニアアルだ。

「営業成績も出るからヤング組織。取り立てもソジネスです」。それが吉川(みかわ)俊二(とし)氏の名前。営業成績で喫茶店のコーヒーを販売する専門商売の元老いはない。

明るめに染めた髪に仕立の良いスーツ。地元の経済団体で代表を務めたいとも。二年前、元金三百万円を出資してグループから顧客情報をもつて金を手に入れる。その形で金を手に入れる。他の業者から

層、マニアアルや情報提供をする一方、実質的には暴力団が運営している。

「元手は数十万円でいい。ノウハウさえあれば誰にでもできる」。週刊紙に本部か

借りた債務者は返済を続ける。「二ヶ月で破たんが普通。それまでじごく取れるのが勝負です」。商談のようにならざる口

もあり無い。

営業部隊はめりこなす。就職難で大半が二十代。就職難で「まともな会社」に就職できなかつたフリーターが多い。

ヤミ金融 出資法の上限金利は22.2%を上回る違法金利で運営する金融業者。中小事業者に手形小切手を振り出すが、最近は「アーノード」(年率20%)の超高金利で運営する会社も現立つ。

ルや電話で多重債務者を勧説し、小口貸しをする業者に大別されるが、最近は「アーノード」(年率20%)の超高金利で運営する会社も現立つ。

(敬称略)

数字に端ね返る東洋社。取

調。

この世界に入ったのは「金

」に動かされるも、動かす人

間になりたがつたから。証券社に十七年間勤務した

後、調査員の訪問販売会社

に立てて無理をする者も出

る。「こんな世界でしが楚を

見られない。彼らが危機が

ないんだ」

摘発も厳しくなってきた

違法でちばせば神様

借り手の人生変わる

う送られる多重債務者のリストを見ても電話をまだ。利息は「トド」(十日で五割)。最初に利息を引いた金額を振り込めば、自動的に大金が転がり込む。

「『家に行こう』と書くと、勝手に頭の中で怖がられる」。他の業者から

を殴られたが、七億円の債務を抱えて倒産。これが原因で妻子とも離別した。

「金社 家族を失ったら…。待つ事ないものが怖い」。その場じの音で借り続け

し、商品券などをしょひ思ふ。罪悪感もある。「借り手の人生を萎えがち」ともありますから。でも、私たちはたいても次が出てくるだけ

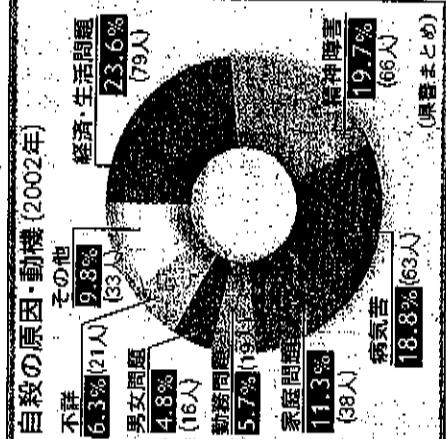
銀行が個人を「門前払い」、消費者金融で低利で融資する時代。「じゃあ、どうすれば



中年男性の自殺増加

県内の昨二年間の自殺者は三百三十五人で前年に比べ微増し、そのうち男性の自殺者は減少傾向にある女性の四倍以上と依然高い水準であることが二十八日、県警のまとめでわかった。年齢別自殺者は四、五十年代男性が多く、自殺の原因・動機で「経済・生活問題」がトップになるなど、長引く不況を背景に仕事のない働き盛りの男性が、経済・生活の問題を抱えて自殺に至るケースが多いことを示す結果となっている。

自殺者総数は三百三十五人で、前年から六人増え



吉 活まは因最原

2002年

加した。男女別にみると、男性は前年比十四人増の三百七十六人、女性は八人減の五十九人。男性全体の約八割を占めた上、過去五年間で四倍以上に広がった。四十年代では男女とも四十代が最も多く、それれ六十四人、十六人だった。男性は働き盛りの四十七、五十年代で自殺者が六十人を超えて、合わせて三百三十六人で自殺者全體の三七・六%を占めた。

職業別になると、「無職者」が百八十八人で、過去五年間で最も多く「雇用者」の八十七人を大きく引き離して多かった。原因・動機別では「経済・生活問題」が二十九人(前年比二八人増)、「精神障害」が六十六人(前年比二人減)、「病気苦」が六十三人(前年比十人減)などとなっており、「経済・生活問題」が過去五年間連続で上昇した。「病気苦」を

(日刊)

宮古新報

宮古郵便局

正しい金銭感覚学ぶ

宮古工業
高校で講話



下地明良さん



熱心に講話を聞く生徒ら=宮古工業高校

宮古郵便局(郵政弘充)は二十七四午後、フレッシュホールで講演会を開いた。宮古工業高校で開いた。沖縄県司法書士会理事の下地明良さんを講師と招き、卒業後に就職する三四年生が生じて、金銭感覚や健全な消費生活を送るために、下地さんと講演会を行った。下地さんが「借金がどうぞ」と題して、毎年取り組んで

が最近増えてくる。夢や希望を抱いてこれから社会には社会の暗い部分を

して友人の名義貸しや保証人などの借金に陥るケースが多い。他人のために家族を泣かすのはない」と訴えた。

また「越えるのも努力するのも選択するのは個人の自由。夢を強くイメージして、何よりも、このうなりたこと意識して明日、来年はこうあるんだ」と意気込んでチャレンジして欲しい」と語りかけた。生徒たちは社卒入としてのマナーを教じさせて熱心に耳を傾けていた。

この講演会は全国の郵便局で二月から四月までの期間で毎年取り組んで

いる新社会人を支援するフレッシュホールキャンペーン事業の一環として行われた。

「風俗に行けばいいのぉ」といひながら、「借金を返せないよ」。土方田を融資する担保代わりに上半身裸の写真を撮られた。胸の前に札束を広げた姿で写ったすぐにはカメラを見詰める暢子(22)。

居場所を探し続けて

東京・神田の雑居ビルのヤミ金融業者。恐怖で握りしめた手が日に日に弱くなつた。借金は既に四百万円。当座の金が少しでも欲しかつた。「借金がはばれて家族『おまえは駄目なやつ』って嫌われる方が怖かった」。

二十歳の時、妊娠した。恋

人だった男は逃げ出し、産み

たくとも「家族には言えない」。堕胎手術費十五万円を

借りたのが始まりだつた。

三年前、兄が都内に家族が

住む家を建てた。住宅ローン

支払いのため、暢子も電話勧説の仕事をキヤバクラのアル

バイトで稼ぐ。給料三十五万

円(月二十九万円ほどの日

給付残高 消費者金融大手

5社の2002年3月期の貸

付残高は計6兆35027億円

で前期比9・3%増。延べ利

率は借金を増やしても正面

面で「いい」といふ間に掛けられ

「風俗に行けばいい」。夜も眠れ

ず、体重が五キロ減った。

多重債務者の救済機関に駆

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

入れた。金額が足りないとき

は、借金を増やしても正面

面で「いい」といふ間に掛けられ

「風俗に行けばいい」。夜も眠れ

ず、体重が五キロ減った。

多重債務者社会を追う

時代の時代

■ ■ 3

入れた。金額が足りないときには、借金を増やしても正面面で「いい」といふ間に掛けられ

無理しても家族として認められた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に見ている。そこで嫌だったの

かもしない」。父親あたれても、遠巻きに見ているだ

けられた。「お父さんには

『おまえの金は汚い』って言

われ』今の言葉覚えておきな

よ』って書いたあった

多額の金を借りておきな

け込んだのは、昨年八月。機

関の仲介で取り立てがやむま

に

「依頼者はみんな同じ表情。作り笑いをしてるんです」。大阪市浪速区に本社を置く調査会社「シークレットアシザーチ」では、これまで三件以上の「夜盗り」を請け負った。「虚勢を張つてあるから、余計高い詰められてこいるのが分かる」と代理取締役の浦上貴義(うらじょう)さんが語る。

二年前の開業以来、不況に後押しされる中で、依頼は増加。八割が借金詐みで「周囲に迷惑を掛けられない」と借錢を重ねた中小事業主が多い。「自宅破産をして、普通まがいの取り立てをやめない

讀書時代

多重債務社会を進む

4

高利貸に遭ふ詰められるケ
スも。
貧しい母子家庭で、浦上四郎、母親が借金の工面を
して生活費が足りず、一家心中まで思へ詰めた経験があ
る。それでも、借金の原因や返済額、家族構成などについて
面談を重ねた上、立む直れると西郷で書いた依頼書を可否認定
せる。「だつて、迷ひなければ、この人たち死んでいたか

る。細子で田地の屋上にたたずみ、「これから救い出してくれば、いくらでも払つて思つた」。新聞配達から債権回収まで、あらゆる仕事を探れ歩き、いざ。バブル崩壊後は事業資金が無付け、借金返済のためだけに交代で二十四時間機械

を動かす西田、「一億五千万円の負債を抱え、夫婦は夜逃げを決めた。新しいアパートを筋ねた浦上に、妻が泣き笑いの表情を浮かべた。「何のために走つて逃げるの？」妻は解説でほほえみながら、「債務で死ぬ思い今までして、守るべきものなんあるのかな」

荷を積つて荷物を運び出しき。金融業者の追跡を避けたため、住民票を隠匿せしむ」とも。自ら破産の厄難に遭ふがやがゆいものあり、「やぐれ」扱ひで済むもの。マジックの魔術だ。

A black and white portrait photograph of a middle-aged man with a serious expression. He has short, thinning hair and is wearing a dark, possibly black, suit jacket over a light-colored dress shirt. The photograph is set against a dark background and is enclosed within a wide black rectangular frame.

お仕事ありがとうございました
（敬称略）

「自分の力で立たないとまた起つてすぐわれる」。生活を再建できるのも、その可能性が大きくなる

平成15年1月31日(金)琉球新報(朝刊)



立ち止まるチャンス

よがつた

夜逃げ屋 料金は20万円
千万円。実行は目立たない白
で、新喜や勘定先、子供の転

消失の時代

多重債務社会を追う

2

道のりは険しかった。融資の不良債権化を懸念し、「借った方が悪い。自業自得」と反対の声。

ギャンシングで巨額の財産を築くそれが目的。給料が下がったことを言い出せない夫。四十年の夫婦が互いに秘密で消費者金融に多額の借金を抱えていたケースもある。「『お金がない、苦しい』は

金融界の慣習に沿うる仕事制度の導入は、主導の名前を全く知らないんだ。

卷之三

一人では解決できない

金融界の常識に逆行する銀行制度の登場が、何を生んだか。――「借金を返すのが何が悪いんだ？」が、指摘された。

セにする金融

は解決で見た」という言葉が生活再建の第一歩となるのです。
「物語」としての「物語」、借金以外の相談にも応じる窓口を運営する。

専用住宅地、名市町村の預託金や銀行からの協調融資を原資として債務者に融資し、弁護士の仲介で一括返済せむ「ハイツローン」が代表的。返済計画も協議する。実質年利は約8%。救済措置も充実され、NPO法人が年間で約30億円、1600件以上の貸倒率は0・04%程度で



三

な物のだと書つ。四指の
は、壊れた「ミニーティー」の
再現なのかもしない。
佐藤景は「雨(ハタケズ)
と蘇んだ算沢賢治の故郷でも
あ。

— 39 —

自己破産申請

昨一年間に個人、法人、が全国の裁判所に出した自己破産の申し立てが、初めて計二十万件を突破し、過去最高の二十二万件に達したことが、最高裁判所で四日までに分かった。

十年前の一九九二年の約五倍で、長引く不況の深刻

平成15年2月7日(金) 沖縄タイムス(朝刊)

過去最高 22万件に

最高裁まとめ

多めあらためうかがわせた。 最近十年間の申立件数は毎年増加。一九九五年は速報値によると、昨年一月間の自己破産の申立件数は二十一万三千五百六十一件で、うち個人が約96%の二十万四千六百三十四件。過去最高の約十六万件は一九九一年よりもう一度以上増えた。

上約一万三千件だった。

高校に司法書士派遣

多重債務や悪徳商法注意



大城 公さん



消費者問題の講演を聞く
高校生=浦添商業高校

「おおづと」県司法書士会（屋宣義会長）は一月に控えた三年生三百十人下旬から、会員の司法書士が四グループに分かれ、このほど卒業を間近に控えた三年生三百十人が四グループに分かれ、

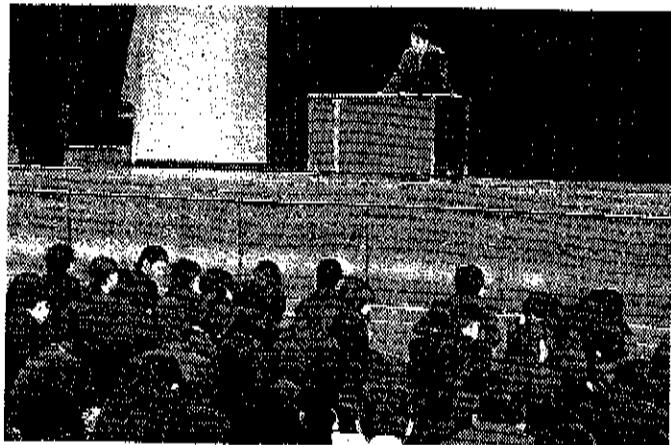
下旬から、会員の司法書士を消費者教育の講師として県内高校へ派遣している。浦添商業高校（佐久川俊一校長）でも

理事の大城公さんは「自己破産者の20%が二十代の若者」と述べ、気軽に作つたカードから借金地獄に陥るケースなどを説明した。

若者を狙う悪徳商法についても触れ、「おいしい話、うまい話は絶対にない。警戒してほしい」と注意を促し、深刻な状況の場合、「絶対に一人で悩まず、家族や専門家に相談して」と助言した。

多め債務の問題などを学んだ。

高校生に消費者金融に絡む問題から身を守ってもらうと、県司法書士会が開いた講話=鹿児島県立鹿児島高等学校



「ヤミ金融」には手を出さないで

高校生対象に講話

業者に対する知識をもつて、各校に講師を派遣して講話を開いていた。十日は鹿児島県立高校(久保田陽子校長)で講話があり、司法書士会の安里従人が「賢い消費者になろう」と題する講話が行われた。

る悪口と「他人の保証人にはならない」「安易に他人へ名義を貢さない」「借金を返すために借金をしない」と言ふ教訓を教えた。

長寿の島の歩み

高齢の日預け金融業者十社から五百万円以上の借金を抱えていた那覇市内の前田ア依(アイ)さん(64歳)=医師。厳しい借金の取り立てに泣く泣く生き抜いて、昨年まで十年以上も続いた。

「自認該流域の下からの金を探してこな」。大声で怒鳴られ、返送を連れる毎日。家に上がり込まれ、ネックレス指輪アレビラジオなど金のものすべて持つていかれた。年金が振る込まれる日には銀行前で待たせされ、その場で金を取り上げられた。

春以来に取り立てに二人とも寝起きっていた昨年3月。夫(妻)さんは自分で手首を切った。救急車が駆け付け未遂で済んだものの、アイさんは体に血を浴びて意識を失うる末を、ただ泣き見つかるしかなかつた。

格好の標的

「運び取り立てあるのは普通の精神状態といふのはすがな」。貸金業者の取り立ての激しさを主訴るのは宮澤勝男司法書士。多重債務問題の解決に取り組んでいる。

アイさんの夫のやつじ

第三回 痴やし幻想

迫撃精神で立取り厳しい

精神科医アーヴィング医師は、「自殺率増の大変な要因の一つは、低い所得水準、高い失業率、県民の借金問題の深刻さだ」と指摘する。

医師アーヴィングは、「去年、個人破産や元雇用保険に基づいて借金を減額させる特免請求申し立てなど、借金問題で裁判所とかわった県民は一人一人は借金問題を抱えている」という深刻な状況だ。

男性の場合、これがでは事

業のため借金をするのがつかないが、近くで生活費を借りるため貸金業者の馬鹿たたく例が目立つてならない。

業者側も、長年は債務から離れていたが、つい一ヶ月前に償つむける。そして多くは重債務に陥つていく人は珍しくない。

医師アーヴィングは、「最近では精神的に追いつかれ、うつ病などの精神疾患を発症し、病院から紹介され多くの相談者が多くなっている」と危機感を募らせる。

県内最多の動機自殺

早期相談が力

県民の自杀率は、100人に自動機は借金など「経済生活問題」が七十九人。医師アーヴィングは、「借金苦は専門家の相談ではしづらさがあるのに、自殺者が死るのは本当に寂しい」と語る。

問題に困られるのが少なくない理由は、夫婦で抱えたまま連れ込まれて、多くのケースも多い。「亡くなっているのは、相談に始つたからかなかつたケース」と指摘し、早めの相談を呼びかけている。

しかし、借金問題を取り扱う専門機関は、県消費生活センターや沖縄フジシト・サンセイセイセイ者なくす会など一部に限られ、多くの相談に対応できていないことも事実だ。

医師アーヴィングは、「借金問題を起因する自殺を防止する方法として、各市町村に相談窓口を設ける」「自分の電話など医療機関へのネットワークについての専門学校や専門学校など社会に出る若者へ借金をしない教訓教育することなど、金銭的な取り組みの必要性を強調する。

(「長寿」取材)

この企画は木曜日に掲載します。

死招いた借金



借金問題の相談に応じる宮澤勝男司法書士=那覇市

消費者金融

貸付総額1000億円に

業者数は人口比全国一

県内で営業する消費者金融業者の沖縄での貸付総額が、二〇〇一年時点では約一千億円を達成した。しかし、鹿児島県法曹士の調べで、二十七町までに分かかった。人口二万人当たりの金融業者数は八・〇四社で、全国トップ。〇一年度は、県民の百人に一人当たり約一万三千人が、破産や特定調停の申し立てなし、借金に関する問題で裁判所を訪れているといふ。

高金利が利用者圧迫

県内銀行と比較しても、総資本金が最も多い琉球銀行の個人向け消費

性貸し付けは約九百億円(〇三年月末)となつており、消費者金融業者が上回っている。

県内登録を受けた県内金融業者の数は、三十五社(一九九九年)、人口一人当たりの金融業者数は、全國二位の東

京都(五・三八社)を大

きく超えており、最

も少ない鹿児島(〇・七

九社)の十倍以上とい

う多さだ。

貸付総額のうち、武蔵

大、アコム、プロミス、

アイフル、三洋信販の大

手五社が、推計で七百五

十億円以上(二〇〇〇年

三月期時点)を占めてい

し、「出資法の上限」近くに25%以上の高金利で貸し出している」と話す利

司法書士脅迫
無職男を逮捕

愛知県警

するには生活の破たんにつながると懸念を唱えている。

調べでは、広津容疑者は昨年五月二十日、名古屋市の司法書士水谷英二さん(四〇)の事務所に電話で、「おまえの娘を殺す」と脅された事件で、愛知県警北署などからって絶対おち殺してやる」と脅迫した。容疑者はを逮捕した。

宇配ビザが水谷さん方に届くこともあります。北署なれば広津容疑者が嫌がらせを繰り返していたとみている。

母娘無理心中が

遺書？「借金、生活疲れた

南風原町兼城

親族「どうして娘まで

立つと、相當悩んだのである。「死んだ」とは云ふか。「死んだ」とは云ふが、『ああ、やがての運命が決してこのままではい

無理心中をしたくあら
れる女性(2)の南風原町
兼城のアパートで「十四」
女性は最近「少しだも震
人の死を悔やんだ。
きょうだいに「おぬじ
それが、自分のことを
れぞれの生活があった」
と語った。

たよろこ無事にいた
表道を歩かぐた。

親族「どうして娘まで」

無理心中をしたとみら
れる女性(?)の南風原町
兼城のアパートで「十四
日夜、きょうだいと一緒に
に女性の身辺の整理など
に当たっていた女性の弟
は「消費者金融からの借
金がかなりあつたよう
だ。ただ、娘まで苦し
て道連れにしたのか」
と、言葉少なに話す。二
人とも一人の遺体を司法解
剖室で見つけていた。

無理心中をしたとみら
れた人の死を悔やんだ。
女性は最近、少しづつ金
のいい仕事を探し、勤め先を転々とし、数日
前に土産物販店の勤めを
決めたばかりだったとい
う。弟は「十円でも二十
円でも喜んでくれる」
と口にしていた。そ
れから何回か電話がありた
が、自分が自分たちにもそ
れぞれの生活があった」と

この夜、アパートで荷
物の整理をする三十分ほ
ど間で、消費者金融の業者
から電話が四回ほど続
けにありたらしい。業者は
「こんなに電話が多いのであれば、普段から取り

南風原町

母親と中学生の娘死亡

アパートの
室内に遺書
「生活苦 疲れた」

二十九日午後一時四十分ごろ、南風原町兼城のアパートの一室で、スーパー店員の母親が「と在学四年生の娘(ひめ)が死(しき)んでいた」のをアパートの管理人が見つけ通報した。与那原署によると、「室内に『生活苦で疲れた』などと書かれた遺書があるため無理心中とみられ、同署が事件・事故の西面で調べている。

同窓の調べでは、母娘は二人暮らし。同口午後、友人の隣人がアパートを訪ねたところ、玄関に鍵がかけられ、戸をたぐり開けられ、管理人を呼び、一緒に室内に入ると娘が宿間で

うつぶせで倒れて死亡し、母親がトイレの窓の格子にひもを結び、首をつって死んでいた。同署によると、娘の首にはひもで絞められたが、周囲で「借金で生活が

時刻の間に死亡したとみられる。同署が二十五日以降、二人の遺体を司法解剖し、死因を特定する方針。

うな跡があった。二十二日午後九時ごろ、母親がアパートの部屋に入るところを目撃している。しかし、同時にから発見

卷之二

□ 水曜日 王亮 王求 斎斤 幸友 (夕)

南風原町のトペーーー
階の一室で、JISの部屋で
住む女性(30)と、中学3年生の娘(14)が死んでいた。
事件で、娘が通っていた中学校(沖縄市)[十五日午前八時すぎ]、全体集会を開いた。

ねず「原因なほは警察が
調べてこぬ。みんなが経
過を見守らまつり」と、著者、娘の福井洋子
呼び掛け「仲良い父兄」や、金賞で一分間
勉強に励んでくれた仲の黙とうを始めた。

すすり泣く同級生

娘の中学校で全体集会

校長は生徒に向かって

「信じられない悲しい出来事だ。娘やどり一緒に先生全員がいる想いを受け止めた」と静かに語り掛けた。生徒からすすり泣く声が聞こえた。

また、校長は事件の詳しく述べ

弔電で督促／多重債務者“脅迫”



県内でも出てきた弔電による債権回収通知

ヤミ金融

実態つかめず捜査難航

県警は、ヤミ金融業者の手口が、県内でも悪質、巧妙化している。弔電などを使い、既に返済のない借金返済を迫りたり、「パートなし」のポストを調べ、消費者金融から請求書が入っている部屋に鍵をかけられたり、ターゲットとなる債務者探しに新たな手口も用ひている。過剰取り立てで債務者が出て、金銭的問題となり、ヤミ金融は業者がつがみといい、捜査が難しが、悪質なものは時間をかけてでも厳しく取り締まることである。

これまでの「借金の返済を追われる」「カラ販」など、県警からも発生してしまったが、債務回収業者を名乗り、「あなたの取立ては月から電報受け取りを無

い」といった全国で約一ヶ月に亘り、債務回収業者を匿す。一方、ターゲットとな

る債務者探しも巧妙化している。県内のある資金調達業者によると、業者は「おまえはヤミ金融の業者ではない」と立てる。債権回収業者のリストが出来ているとみると

取り立てやに悪質化

県内「リスト」基に狙い撃ち

法外な高金利で金を貸す、いわゆるヤミ金融業者の手口が、県内でも悪質、巧妙化している。

弔電などを使い、既に返済のない借金返済を迫りたり、「パートなし」のポストを調べ、消費者金融から請求書が入っている部屋に鍵をかけられたり、ターゲットとなる債務者探しに新たな手口も用ひている。過剰取り立てで債務者が出て、金銭的問題となり、ヤミ金融は業者がつがみといい、捜査が難しが、悪質なものは時間をかけてでも厳しく取り締まることである。

手元で「身内、友人などに迷惑を掛けない」といって、毎月五千円以下の高級報紙で、祝

手元で「身内、友人などに迷惑を掛けない」といって、毎月五千円以下の高級報紙で、祝

手元で「身内、友人などに迷惑を掛けない」といって、毎月五千円以下の高級報紙で、祝

件以上はフレジット払い度や携帯電話からの電話申込みは一ヶ月に六度を始めた後、電話に関する相談は減少した。その一方で最近では封書をはがきを使った回数の不当な請求が増加。

件以上はフレジット払い度や携帯電話からの電話申込みは一ヶ月に六度を始めた後、電話に関する相談は減少した。その一方で最近では封書をはがきを使った回数の不当な請求が増加。

算読料（消費税込み）3,160円】

ヤミ金融許しません

128人態勢で被害撲滅へ

大阪府警が取締本部

ヤミ金融被害の深刻化を受け、大阪府警は一日、「悪質金融事犯特別取締本部」を設置。被害撲滅へ態勢強化に乗り出した。

ヤミ金融の法外な利子と取り立てに苦しむ心中に追い込まれるなど、被害が広がっており、これまでの取締本部を拡充して百二十八人態勢で臨む。

捜査部門の中核を担う

生活安全部のほか、刑事

部や組織犯罪対策本部な

どで構成、府警を挙げて

対策に取り組む構え。

ヤミ金対策強化 意見書を可決

西原町議会

【西原】西原町議会（与那嶺義雄議長）は六月三日、六月定例会最終本会議で、ヤミ金融対策の強化を求める意見書を全会一致で可決した。意見

書では、ヤミ金融の横行や、それに伴う悪質な取り立てなどで深刻な被害が多発していると指摘。

その上で、出資法の上限金利を超える貸し付け契約にかかる罰則の強化と運用の厳格化など、「新たな立法措置を含めた悪徳ヤミ金融を排除す

るための措置を速やかに講じるべきだ」として、政府や国会に要望している。

ひとり親世帯



8割が生活苦を訴え

平成15年7月2日(水) 沖縄タイムス(朝刊)

ヤミ金融2人逮捕

出資法違反容疑法定50倍の利息

同社は今年一月、東京都から貸金業登録を受けた。多重債務者を狙つて融資を持ちかけていた疑いもあり、県警が裏付けを進めている。

け、奥家や職場にも取り立てる電話をするなどと思
ぬ事案」と指摘。今後、執拗な取り立て行為や、三人以外の被害者の有無などについても調べを進める。

のダイレクトメールなど
関係資料を掲載、回答疑
者の身柄は「日夜、空
角、中盤」である。

眞理子金融会商取締対策班は二日、県内と京都府に住む計三人（高利で貸し付け、法定利
息の約五十倍分を受け取っていたとして、出資法違反容疑（高利貸反）で、東京都豊島区の
眞理子（フジコ）代表、三浦仁（容疑者二）（東京都新宿区）と、同社従業員で住所不定
の齋藤裕哉（容疑者三）を逮捕した。被告が広域に及ぶ本庄やみ金業者を、眞理子が摘発するの
は初めて。

（27面に関連）
東京都墨田区の業園で住所不定の齧が摘発するのと、繋がれた情報を探りつけていた。表家へも催促の電話をかけ、「娘が金を借りている。バカヤロ

と持ちかけ、家族構成
や銀行の口座番号、親族

と書かれた電報を送りつけた。実家へも催促の電話をかけ、「娘が金を借りている。バカヤロ、お前が払え」などと暴言を繰り返したといふ。

記入では、而る疑問に

中華書局影印

石垣市内の主婦が五月
中旬、八重山署に被害相

開封出した上で、貸し付けていた。

五月上旬の間 在場内
の主婦(四)、那覇市内の
主婦(三)、京都府山科区
の男性会社員(五)の三人
に、合計十三万一千円を
取つた疑い。

08%に満たず
一千八百円だ
日にあたる利
益一千円を差け

談して落涙した。いずれも姫庭を詔めている。
興味上から、画社は被審者に忽然電話、「金に困つて」といたぐらにな

西脇さんは支払いが滞る」「払えない」と大変なことになると、と繰り返す。しかし、「天災慰入金せよ。(入浴)」と勧められたほか、

「チ」別称で呼ぶものある。

警察の積極関与を

県司法書士会 ヤミ金融対策で要請

県外で自殺者がいるなど「ヤミ金融」問題が深刻化していることを受け、県司法書士会(石垣和博会長)は3日、県警生活保安課に同問題への

積極的かつ早急な対応を求める緊急要請を行った。同日午後、県警本部を訪れた石垣会長は、同課の担当者に要請文を手渡しの被害者が相談のた

め警察を訪れた場合、本格的な態度で取り立てるべき死をえらびました。あけく死をえらびました。た「なまじき書かれた遺書」が見つかった。

要請後に開かれた会見で同会は、県警側が「県警に寄せられる相談件数も激増している。積極的に対応し、県民の安全を守りたい」と述べ、要請

文を受け取ったことを報告。石垣会長は「現在、ヤミ金融業者が横行し、法律を無視して稼いでいる状況にある。被害者は警察や弁護士、司法書士などとすぐ相談してほしい」と呼び掛けた。

具体的な対処
アドバイス
大阪でヤミ金相談会
ヤミ金融業者からの取

り立てを苦に夫婦の三人
が心中した大阪府八尾市
で、「大阪クレジット・サ

ーラ金被害者の会」(田中洋一
会事務局長)が3日、被害
者の対象にした相談会を開催した。心中を憂うけ、
同会が初めて催した出張
相談で、会場には雨の中

14人、JR関西線の途中に六十代の夫婦
ら三人が飛び込んだ。自

被害者が訪れた。
弁護士や司法書士ら
が、個別に債務や取り立ての状況を聞き取りながら、具体的な対処法をアドバイスした。

一方、八尾市長と市議会は同日、ヤミ金対策の強化を求める要望書などを衆院財務金融委員長らに提出した。心中は6月14日未明、JR関西

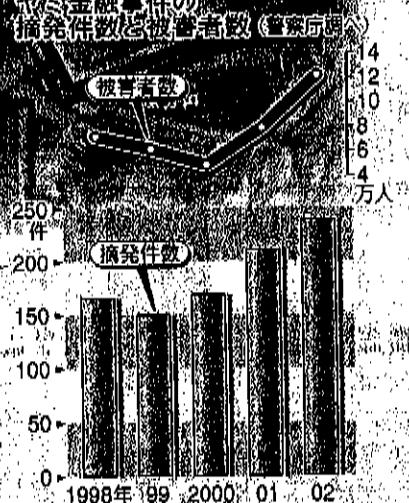
「たかが小業者やな。
から金融業を営む業者は
は、ヤミ金融業者への不
快感をあらわした。「われ
われはこれまで法律の
枠内で一定のルールに基づ
き取り立てを行つてい
たが、ヤミ金融は法律な
ど一切無視している」と
嘆く。

はびこる違法業者

者も出るなり腰痛を抱いておられた六十代夫婦、娘の三人が心中の難作がござつた。また、屋内でも料もえを払えば簡単に醫院である現在の制度では、米、母親が中学三年生の娘と心中する悲劇が起きてゐる。最近では、貸し付けの料金を払えば簡単に醫院である現在の制度では、米、母親が中学三年生の娘と心中する悲劇が起きてゐる。

沖縄グレジャット・サウ 咲年の夏の間の貿易額は、
金額をよくす会社で、立派数は一千六百件。
司法輔士の田中徳男さん 多種債務者の特定調停会
は「大手の貸金業者に食 立派数は三万一千六百回」
い物にされてきた人がや 件といすれも過去幾多の大
き金融の醜聞になつて つた。
る」と説明する。過去に 一方、県司法輔士会の

多重債務者増と関連



調べによると、全国展開している大手消費者金融の店舗数は、「九」の四百二十六ヶ所と想定して、約機は九六年の二十四万台を突破する。昨年五月には三百三十六店で、宮里さんは「ヤクニ金融」とリンクしていることを表明する。

平成15年7月4日(金) 沖縄タイムス(朝刊)

ヤミ金融罰金1億円

**改規制法
来月にも罰則強化**

今国会成立へ

ヤミ金融対策関連法事のポイント

- 無登録業者や違法金利貸し付けなどに対する罰則を懲役5年以下、罰金1000万円以下に強化。法人への罰金は最大1億円に引き上げ
 - 法定上限金利の年利109.5%を超える貸し付け契約は無効とし、利子の返済を求められない
 - 暴力團関係者など不正の恐れがある業者の登録を拒否。過去に登録抹消となった業者の登録拒否期間を3年から5年に延長
 - 無登録業者は、広告や勧誘行為だけで罰則の対象に
 - 対策は施行後3年をめどに見直し。貸金業の上限金利(年利29.2%)は現状維持とするが、3年後に再検討

沙汰外に高金利での貸し
受け被審が社会問題化
しているヤミ金融を規
制する貸金業規制法など
閣連法の改正案につい
て、国民党は四日の総務
会議で、今国会の成立が確
かで了承、与野党各党と
も共同提案への党内手続
きを終えた。八日にも衆
院財務金融委員会の審議
は上院へ上る。一方、国民党
は最大の利子分を無

とが柱。警察の取り締まり強化と共に、ヤミ金融業者が絡んだ犯罪の抑止は、県内でも先月、借金返済の未だ母親が中学生の娘と心中、大阪府八尾市で強制執行による暴力事件が発生した。一方で、法廷上、法定上効果を狙う。施行は来年一月だが、罰則強化は早めに実現する。されば、法廷上強制執行を免められなくなる。

西」夫婦ら三人が心中する事件が起きたなら、西一刻被審が続出。与野党は早急な対策が必要との認識で一致した。

資金繰り登録を纏めのみにかかるやうな取扱が後を絶たないといふから、銀行の立場との関係がある業者の登録を拒否。過去に「登録」

平成15年7月5日（土）沖縄タイムス（朝刊）

上質法で定めた利息である
る契約の上限金利である
年利100・5%を超える
る貸借契約を結んだ場合
は、契約を無効とする規定
を設けた。この際、利
用者は元本を返済すれ
ば、利子を支払う必要が
なくなる。

無理な業者は、広く問題とされるべきである。そこで、業者の摘要を後押しがある。

今回の対策は、施行後三年をないで見直す。現状維持とした資金繰り上、限金利(年利29・2%)見直しが、三年後に検討する。

法外な利息や暴力的な取り立てを行うヤミ金融業者の被害者が急増している事態を受け、県司法書士会(石垣和博会長)は三日、県警に対し、ヤミ金融業者の積極的な検挙・取り締まり活動の推進など具体的な対応を要請した。

石垣会長は「昨年からヤミ金融被害者の相談が急増しており、警察が積極的に検挙・取り締まつてほしい」と指摘。その上で「ヤミ金融被害者の相談を受け、警察官が業者に直接電話して警告するなど具体的に対応するのを求める。」と述べた。

ヤミ金融業者の対策強化要請

県司法書士会が県警に

今年1月から6月までの上半期に全国の警察が摘発したヤミ金融事件の被害者数が約16万6000人と、過去最多だった昨年1年間の約12万2000人を4万人以上も上回ったことが4日、警察庁のまとめで分かった。被害総額も半年で約173億7000万円と、昨年1年間の約160億円を超えた。

16万人、173億円

上半期の警察庁まとめ

ヤミ金融をめぐっては、法外な金利による貸し付けや違法な取り立てが社会問題化。「ヤミ金融対策法」が9月から一部施行されるのに向け、警察

は同日、各警察本部の担当者会議を開き、業者の隠し資産の発見や不法収益のはく奪などを取り締まり強化を指示した。

警察庁によると、上半期は同日、各警察本部の会議には各警察本部の生活経済事件と暴力団取り締まり担当者約百六十人が参加。警察庁の瀬川勝久生活安全部長は「法規制法と出資法の改正(ヤミ金融対策法)一部施行に合わせ、警察

は9月を取締強化期間とし、各警察本部に集中取締本部を設置する。

「ヤミ金」被害過去最高

既に昨年1年間上回る

ヤミ金根絶に期待

罰則強化
法案成立

上限金利の百倍、千倍せん。新たな法規制は、いついた高利で多額債務手口を發えながら生き残る者を食い物にしてきたヤミ金融の規制も罰則が強化されることが四〇、「新しく法律」は、か確実になつた。「ヤミ金なり期待しています」。被害者は大打撃。被害者や闘争者の期待を抱く一方で、ヤミ金の百円以上の借金があり

「金融を経営したことないやうだ。」「昔をしめみいわの暴力団を捜査した業者もいる問題」を認めている監視官幹部は「罰則強化は非常に喜ばしい。擴充する力を入れていただき」と歓迎する。「一步前進」と語るのは都内に被害者救援に取り組む司法書士鈴木正道さん。ヤミ金融との契約は元本も含め無効と訴えてきたが、改正法は利息の無効など重り不満も

ヤミ金被害急増16万人

警察庁 半年で昨年超す
まとめ

総額173億円

とあることでした。
金融規制法と田澤法の改一部施行に合わせて、警察
署強化を柱とした「正法」(ヤミ金融対策法)は9月を取締強化期間

今年1月から6月までの上半期に全国の警察が摘発したヤミ金融事件の被害者数が約十六万六千人と、過去最多だった昨年一年間の約十二万一千人を四万人以上も上回ったことが四田、警察署のまとめで分かった。被害総額も半年で約百七十三億七千万円と、昨年一年間の約百六十億円を超えた。

ヤミ金融をめぐり、「最多だった昨年一年間のは、法外な金利による貸し付けや違法な取り立てが社会問題化。「ヤミ金融対策法」が9月から一部施行されるに向け、警察

署は四田、各警察本部に集中一百三十八件にぼぎ並んだ。摘発人數も四百六十九人で、昨年一年間の四百四十六人を超えた。

会議には各警察本部の担当者会議を開き、業界の隠し資産の発見や不法収益のばく奪を取り締まの強化を指示した。

警察署によると、上半期に摘発したヤミ金融事務は二十九件。過去一年間の件数は、過去一年間の件数は二十九件。過去一年間の件数は二十九件。

県警の上半期の摘発件数は六件、摘発人數は六

人。被害総額は約三十五億円に上っている。

改正を踏まえて、警察の総合力を發揮し徹底した取り締まりと適切な被害対策を進めてほしい」と述べた。

指定暴力団山口組系組員によるヤミ金融事件で、警視庁生活経済課と広島県警及び四県警の合同捜査本部は十一日、出資法違反(高金利)の疑いで「ヤミ金の帝王」と呼ばれる山口組系元組幹部の梶山進容疑者(五三)、住所不詳を逮捕した。

梶山容疑者は指名手配されていたが十一日前に九時頃、調べに対し「これからよく考えて話したい」と供述しているといふ。梶山容疑者は山口組傘下の二次团体「五義会」の会長側近で、ヤミ金融千葉者を取り仕切る「統括センター」のトップ。

このうち六人から約五十回

大人一るた一

重に上り、ヤミ金融事件で、警視庁生活経済課と広島県警及び四県警の合同捜査本部は十一日、出資法違反(高金利)の疑いで「ヤミ金の帝王」と呼ばれる山口組系元組幹部の梶山進容疑者(五三)、住所不詳を逮捕した。

梶山容疑者は指名手配されていたが十一日前に九時頃、調べに対し「これからよく考えて話したい」と供述しているといふ。梶山容疑者は山口組傘下の二次团体「五義会」の会長側近で、ヤミ金融千葉者を取り仕切る「統括センター」のトップ。

益が梶山容疑者を通じて

山口組に流れているのみ

頭、調べに対し「これからよく考えて話したい」と供述しているといふ。

梶山容疑者は山口組

員の松崎敏和容疑者(四

四)住所不定で、二年四月上旬から十二月

中旬、札幌市内の主婦

(四十七人から約五十回

元山口組系幹部

1000業者取り仕切る

合同捜査本部

ヤミ金の帝王逮捕

い効率的な手法で密を全国に行き、収益を急激に増やしていた。

監禁のヤミ金業者を再逮捕

高金利貸し付け

大阪府警悪質金融犯特別取締本部は十一日、

高金利で金を貸したなどとして出資法違反(高金利)容疑などで、大阪市

重債務者の住所や氏名を基に、ダイレクトメールや携帯電話を使って舞弊として受け取った疑い。

梶山容疑者配下のヤミ金業者は二〇〇〇年八月に起きた「名媛屋」からの賃貸料未払は対面しな

別に勧説。

貸付けや利息の支払いや銀行口座を利用して、

生野区、ヤミ金融業「才

レジ」経営者兼舞客疑

主なこと大阪市東成区、

同「エース」経営金闇容

疑者(二)を再逮捕した。

一斉提訴の訴状をもち裁判所に入る司法書士ら
=29日午前、那覇地裁



過払い金返還へ一斉提訴

十六人が二十九日、支払い済みの金利は利息制限法違反で無効だとして、大手消費者金融や信販会社などを相手に、過払い金返還などを求めの一斉提訴した。同法を根拠とした訴訟や特定調停は昨年から急増。ほぼすべてで原告側が和解による多額の返還などを勝ち取っている。一方、業者側は貸業規制法をたてに「要件がそろえば無効」ではない」と法解の通りだと主張する。しかし、個々の業者が法廷で争うのは未知数だ。

クレサラ被害の会 「啓もうが必要」



波喜田部長が「ヤミ金融
被害生活安全部の伊良

知らずに生活や仕事を
犠牲に苦しみ続ける人
があまりに多い。厳しい
取り立てに夜も眠れず、
多額債務者のほとんど
が自殺を終えたことがあ
るものが現状だ」と指摘。

富里徳男さんは「法律を
知らないに生じた問題を
がままで放置するのではなく、
業者と沖縄弁護士会
が連携を強化しようと
議」を設立。二十九日、
県警本部内で初会合を開
いた。被害者が抱える問
題を刑事、民事の両面か
ら迅速、的確に対応する
ため情報を共有化し、悪
質犯を積極的に事件化
する」とを確認した。

撲滅へ連携強化

一斉提訴は多額債務者を支援する「沖縄アーレ」は利息制限法で返されず、「被害をなくす会」の会員が相手の司法書士や弁護士が中心となって裁判を支える。

昨年六月の一次一斉提訴では、金件で平均八割近く返還し和解する傾向にある。業界団体が、正解(同会)を勝ち取った当性を強調する一方で法廷で争わず和解を求める流れ。

被害者名を連ねた大手業者が多く、「真っ向から反論する。が加盟する貸業協同組合は「遅れば口上にすきない」。法的に自信があるなら応じる。被害者名を連ねた大手業者も、いかにも入門的に争うたが、代理弁護士が背景にある「負け口上にすきない」。今後は田代が連携に対する法的措置にも力を入れたいとしており、法廷でのやりとりが注目される。

のはなぜか。

これに対し、富里さん

ヤミ金融被害の未然防止と徹底検挙を図るために、県警と沖縄弁護士会が連携を強化しようと協議が進展だけではなく適切な被害者対策が必要。弁護士会との連携は意義深い」とあいさつ。沖縄弁護士会の三宅俊司副会長は「積極的に被害者を救済していく姿勢が必要。それには弁護士による介入と警察による適正な司法的救済が不可欠」と強調した。

ヤミ金融問題を「一歩」に明。一方、弁護士会はヤミ金融の電話相談を九月中に三回実施する予定や、九月の民衆研究会でヤミ金融問題を「一歩」に取り上げることなどを報告した。

県警によると、ヤミ金融に關する相談は、昨年九月をヤミ金融取引締まり強化用間に指定し、累計六十七件以上ある。

発行／沖縄県司法書士会
TEL／(098)867-3526
那覇市おもろまち 4-16-33
発行日／平成15年11月20日